

高齢者ネットワークシステム

■ 高齢者ネットワーク(ボランティア組織による学習)
退職後は、パソコンを覚えて楽しい生活を送ってみませんか。

米国では、高齢者に対するパソコン教育を支援する取り組みが進んでいる。

「シニアネットのパソコンセンター」で、ホーリンさんは、自分の家族の歴史をまとめることに、今興味を持っている。

インターネット上にホームページを作って、結婚した頃からの出来事を記録している。全米のあちこちに住んでいる4人の子供達に時々電子メールを送って問い合わせる。それはそのまま元気の便りになる。

夫のマロウさんは世界中のネットを覗くのに夢中。居ながらにして世界旅行。

シニアネットは、高齢者向けのパソコン通信ネットワークを運営する非営利組織で、コンピュータはインテルからの寄贈。55才以上の米国人の30%がパソコンを持っている。

高齢ユーザーが増えている要因の一つは、孫達との対話にパソコンが欠かせなくなったことだ。

4才の甥は80近い祖父にフロッピーを見せて「おじいちゃん、新しいゲームを手に入れたから、一緒にやろうよ」

■ 国民がサービス情報を容易に検索できるネットワーク

